



この写真は人気社の海外拠点があるインドの世界遺産、
ラジャスタンの丘陵城塞群のひとつクンバルガル城です。



株式会社 **大気社**

2021年3月期(2020年度)

第2四半期決算説明会資料

2020年11月17日

Copyright 2020 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

本日の説明内容

I. ご挨拶

代表取締役社長執行役員
加藤 考二

II. ・2021年3月期 第2四半期決算説明
・中期経営計画の各戦略における取組み

取締役常務執行役員 管理本部長
中川 正徳

III. 質疑応答

1. 上期の市場環境と業績
2. 通期業績予想

社長の加藤でございます。

本日は、弊社の決算説明会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

本来ならば対面で直接皆さまにご説明したかったのですが、今回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、やむなくリモートでの決算説明とさせていただきます。

私からは、上期の市場環境と業績、そして通期業績の見通しについてご説明させていただきます。

1. 上期の市場環境と業績

1 上期の市場環境と業績

上期の市場環境

国内市場

ビル空調分野においては、第1四半期会計期間における緊急事態宣言などによる影響により投資を先送りする動きが見られた。

また、産業空調分野においても、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による景気悪化の影響や先行き不透明感の高まりにより、各メーカーによる設備投資は慎重な動きが続いた。

海外市場

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による景気悪化の影響や先行き不透明感の高まりにより、産業空調分野、自動車塗装分野ともに、各メーカーの設備投資は調整局面が続いた。

まず、当社グループにおける市場環境につきましては、国内市場はビル空調分野においては、第1四半期会計期間における緊急事態宣言などによる影響により投資を先送りする動きが見られました。

また、産業空調分野においても、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による景気悪化の影響や先行き不透明感の高まりにより、各メーカーによる設備投資は慎重な動きが続きました。

海外市場も国内と同様に、産業空調分野、自動車塗装分野ともに、各メーカーの設備投資は調整局面が続きました。

1 上期の市場環境と業績

上期の連結業績

単位：億円

	予想	2020.9 実績	差異
受注工事高	900	945	45
完成工事高	805	815	10
経常利益	39	37	-1
(同率)	4.8%	4.6%	-0.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	29	30	1
(同率)	3.6%	3.8%	0.2%

今期は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、業績予想の開示を8月11日の第1四半期決算発表のタイミングに行った。

そのため、上期の業績予想に対して、ほぼ想定通りの結果となった。

続いて、上期の業績についてご説明いたします。

今期は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、業績予想の開示を8月11日の第1四半期決算発表のタイミングに行いました。

そのため、上期の業績予想に対して、ほぼ想定通りの結果となりました。

2. 通期業績予想

続いて、通期の業績予想についてご説明いたします。

2 通期業績予想

通期の連結業績予想

単位：億円

	上期実績	下期予想	通期予想
受注工事高	945	1,074	2,020
完成工事高	815	1,214	2,030
経常利益	37	82	120
(同率)	4.6%	6.8%	5.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	30	49	80
(同率)	3.8%	4.1%	3.9%

【市場環境の見通し】

環境システム事業

- ビル空調分野の建設需要は、リモートワークの普及によりオフィスビル需要の減退感が強まり、短期的には計画延期・縮小の動きがあるが、大型再開発やリニューアル需要、データセンターなど、中長期的には底堅く推移する見通し。
- 産業空調分野は、国内、海外ともに新型コロナウイルス感染症拡大の影響による景気悪化に伴い、短期的に設備投資は調整局面が継続する見込み。スピード感に懸念はあるが、5G普及やCASEの本格化により、中長期的には国内、海外ともに需要は回復に向かうことが期待される。

塗装システム事業

- 新型コロナウイルス感染再拡大により、依然として先行きは不透明な状況が続いており、設備投資は調整局面が継続する見込み。

まず、市場環境の見通しについてご説明いたしますと、
環境システム事業では、ビル空調分野の建設需要は、リモートワークの普及によりオフィスビル需要の減退感が強まり、短期的には計画延期・縮小の動きがあるものの、大型再開発やリニューアル需要、データセンターなど、中長期的には底堅く推移する見通しです。

産業空調分野では、国内、海外ともに新型コロナウイルス感染症拡大の影響による景気悪化に伴い、短期的に設備投資は調整局面が継続する見込みです。一方、スピード感に懸念はありますが、中長期的には5Gの普及やCASEの本格化により、国内、海外ともに、需要は回復に向かうと考えています。

また、塗装システム事業については、足元では新型コロナウイルスの感染再拡大により、依然として先行きは不透明な状況が続いており、設備投資は調整局面が継続する見込みです。

このような状況のもと、先程もお伝えした通り、第1四半期決算発表時に開示した今期の業績予想に対し、上期の実績はほぼ想定通り推移していることから、現時点では通期業績予想を据え置くこととしました。

引き続き中期経営計画の基本方針に則り、各施策を着実に実行し、今期の業績達成を目指してまいります。

なお、中計の各戦略における今期の成果や取組みについては、この後、管理本部長の中川より、決算説明に続いて最後に触れさせていただきます。私からのご説明は以上となります。



1. 2021年3月期（2020年度） 第2四半期決算説明

- | | |
|------------------------|--------------------|
| ① 2021年3月期第2四半期決算ハイライト | ④ 主な受注工事・完成工事・繰越工事 |
| ② 環境システム事業の業績 | ⑤ 2021年3月期の業績予想 |
| ③ 塗装システム事業の業績 | ⑥ 株主還元 |

2. 中期経営計画（2019年度～21年度）の各戦略における取組み

1. 業績数値等は原則、連結ベースです。個別ベースの場合のみ、各ページのタイトルに（個別）と記載しています。
2. 業績数値等は原則、外部顧客に対する取引金額となっており、セグメント別の営業利益・経常利益についてのみ、内部取引高を含む数値となっております。
3. 業績予想数値は、発表日現在において、入手可能な情報に基づき推計した見込みです。経済動向、業界における激しい競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度の改正、その他多様なリスクや不確実性を含んでいます。そのため、実際の業績は当社の見込みとは異なる可能性がありますので、ご承知おきください。

1. 2021年3月期（2020年度） 第2四半期決算説明

管理本部長の中川です。

当頁からは、2021年3月期上期決算につきましてご説明いたします。

1
2021年3月期第2四半期決算ハイライト
1-①.事業別受注工事高 (前年同期比)

	2019.9	2020.9	増減
受注工事高	1,184	945	-239
(うち国内)	(666)	(449)	(△216)
(うち海外)	(518)	(495)	(△22)
環境システム事業	786	594	-191
ビル空調	235	161	-74
産業空調	550	433	-117
(うち国内)	(360)	(238)	(△122)
(うち海外)	(189)	(194)	(5)
塗装システム事業	398	350	-48
(うち国内)	(69)	(49)	(△20)
(うち海外)	(328)	(300)	(△27)

(環境システム事業)

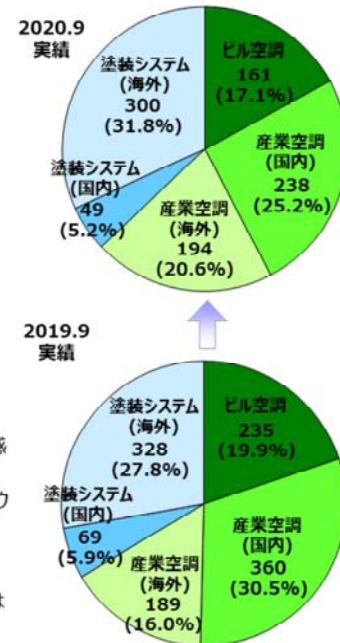
・ビル空調分野は、前年同期に大型案件の受注があったことによる反動減に加え、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、短期的に投資を先送りする動きがあった。

・産業空調分野は、国内は前年同期に大型案件の受注があったことによる反動減に加え、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による景気悪化に伴い、設備投資は調整局面が続いた。

一方、海外は同じく景気悪化の影響を受けたが、タイにおいて大型再開案件の受注が寄与。

(塗装システム事業)

・今期は欧州で非日系顧客からの大型案件の受注があったものの、景気悪化の影響により設備投資は調整局面が続いたことや、前年同期は北米で豊富な受注があったことなどから減少した。

事業別構成


11

Copyright 2020 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

当頁は、事業別の受注工事高を前年同期比でまとめています。

まず、全社においては、239億円減少し、945億円となりました。

そのうち、環境システム事業は191億円減少し、594億円となりました。

ビル空調分野は、前年同期に大型案件の受注があったことによる反動減に加え、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、短期的に投資を先送りする動きがあったことなどから、74億円減少し、161億円となりました。

産業空調分野は、国内は前年同期に大型案件の受注があったことによる反動減に加え、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による景気悪化に伴い、設備投資は調整局面が続いたことにより、122億円減少し、238億円となりました。

一方、海外は同じく景気悪化の影響を受けましたが、タイにおいて大型再開案件の受注があったことなどにより、5億円増加し、194億円となりました。

また、塗装システム事業は、今期は欧州で非日系顧客からの大型案件の受注があったものの、景気悪化の影響により設備投資は調整局面が続いたことや、前年同期は北米で豊富な受注があったことなどから、48億円減少し、350億円となりました。

1 2021年3月期第2四半期決算ハイライト

1-②. 事業別受注工事高（予想比）

単位：億円

	予想	2020.9実績	差異
受注工事高	900	945	45
（うち国内）	（407）	（449）	（42）
（うち海外）	（493）	（495）	（2）
環境システム事業	550	594	44
ビル空調	104	161	57
産業空調	446	433	-12
（うち国内）	（249）	（238）	（△10）
（うち海外）	（197）	（194）	（△2）
塗装システム事業	350	350	0
（うち国内）	（54）	（49）	（△4）
（うち海外）	（296）	（300）	（4）

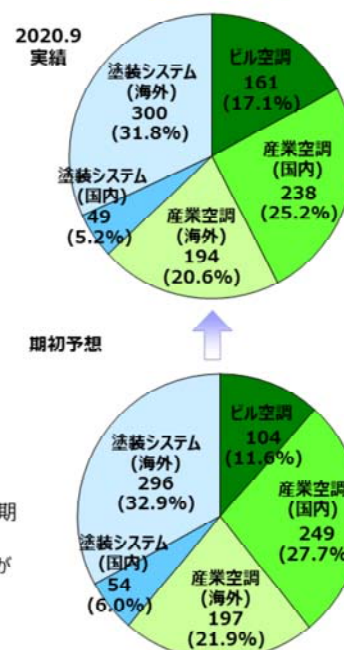
（環境システム事業）

- ・ビル空調分野は、新型コロナウイルス感染拡大による顧客の投資時期先送りの動きを鑑みて下期以降の出件を見込んでいた案件が、上期に前倒しで受注となったことなどにより予想を上回った。
- ・産業空調の国内は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による景気悪化に伴い、投資計画が先送りとなったことなどにより、予想を下回った。

（塗装システム事業）

- ・ほぼ予想通りの結果となった。

事業別構成



当頁は、同じく受注工事高について、期初予想比で示しております。

なお、業績予想値は、8月11日の第1四半期決算発表時に開示した内容となります。

まず、全社では、期初予想を45億円上回りました。

そのうち、環境システム事業は、期初予想を44億円上回りました。

ビル空調分野は、新型コロナウイルス感染拡大による顧客の投資時期先送りの動きを鑑みて下期以降の出件を見込んでいた案件が、上期に前倒しで受注となったことなどにより、予想を上回る結果となりました。

産業空調の国内は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による景気悪化に伴い、投資計画が先送りとなったことなどにより、予想を下回りました。

一方、塗装システム事業は、ほぼ予想通りの結果となりました。

1 2021年3月期第2四半期決算ハイライト

2-①. 事業別完成工事高（前年同期比）

	2019.9	2020.9	増減
完成工事高	1,049	815	-233
（うち国内）	(642)	(474)	(△168)
（うち海外）	(407)	(341)	(△65)
環境システム事業	761	573	-188
ビル空調	251	175	-75
産業空調	510	397	-112
（うち国内）	(334)	(258)	(△75)
（うち海外）	(176)	(139)	(△36)
塗装システム事業	288	242	-45
（うち国内）	(57)	(40)	(△16)
（うち海外）	(230)	(201)	(△29)

（環境システム事業）

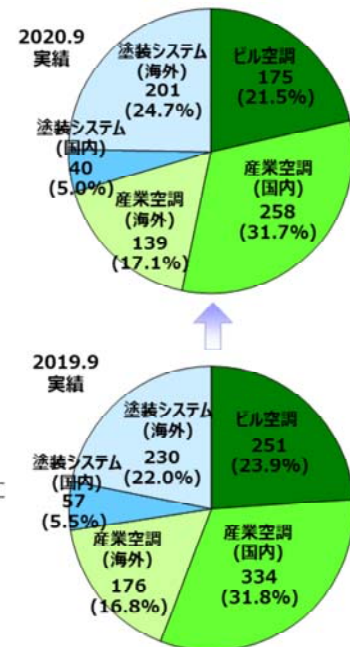
- ・ビル空調分野は、前年同期は大型再開発案件の出来高が伸びたため、反動減となった。
- ・産業空調の国内は、前年同期は複数の大型案件が大きく進捗したため、減少した。
- ・産業空調の海外は繰越工事高は前期期初より多かったものの、工期的に今期上期会計期間の完工に寄与する案件が少なかったことにより減少した。

（塗装システム事業）

- ・繰越工事高が前期期初より少なかったことにより減少した。

両事業とも海外において、ロックダウン中は施工活動が制限されたが影響は軽微であった。

事業別構成



当頁は、事業別完成工事高を前年同期比で示しております。
まず、全社では233億円減少し、815億円となりました。

そのうち、環境システム事業は188億円減少し、573億円となりました。
ビル空調分野は、前年同期は大型再開発案件の出来高が伸びたため、今期は反動減となりました。

産業空調の国内は、前年同期は複数の大型案件が大きく進捗したこともあり、今期は減少となりました。

また、産業空調の海外は、繰越工事高は前期期初より多かったものの、工期的に今期上期会計期間の完工に寄与する案件が少なかったことにより減少しました。

続いて、塗装システム事業におきましては、繰越工事高が前期期初より少なかったことにより、全体では45億円減少し242億円となりました。

なお、両事業とも海外において、ロックダウン中は施工活動が制限されましたが、影響は軽微でした。

1 2021年3月期第2四半期決算ハイライト

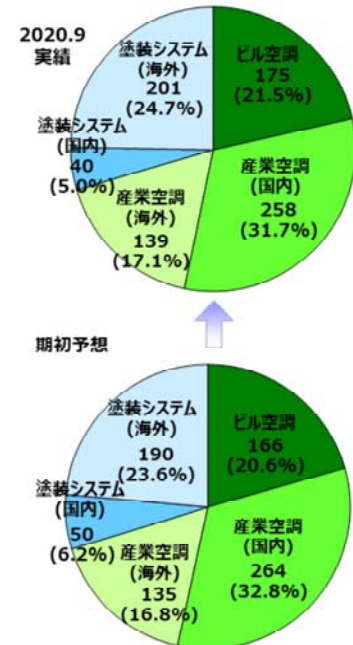
2-②.事業別完成工事高（予想比）

単位：億円

	予想	2020.9 実績	差異
完成工事高	805	815	10
（うち国内）	(480)	(474)	(△5)
（うち海外）	(325)	(341)	(16)
環境システム事業	565	573	8
ビル空調	166	175	9
産業空調	399	397	-1
（うち国内）	(264)	(258)	(△5)
（うち海外）	(135)	(139)	(4)
塗装システム事業	240	242	2
（うち国内）	(50)	(40)	(△9)
（うち海外）	(190)	(201)	(11)

両事業ともほぼ予想通りの結果となった。

事業別構成



当頁は、同じく完成工事高を予想比でまとめています。

環境システム事業、塗装システム事業ともにほぼ予想通りの結果となりました。

1 2021年3月期第2四半期決算ハイライト

3-①. 事業別利益（前年同期比）

単位：億円

	2019.9	2020.9	増減
営業利益	75	31	-43
(同率)	7.2%	3.9%	-3.3%
環境システム事業	72	42	-29
(同率)	9.5%	7.4%	-2.1%
塗装システム事業	5	-10	-16
(同率)	1.9%	-4.5%	-6.3%
経常利益	76	37	-39
(同率)	7.3%	4.6%	-2.8%
環境システム事業	74	44	-30
(同率)	9.8%	7.8%	-2.0%
塗装システム事業	5	-10	-15
(同率)	1.8%	-4.4%	-6.2%

（環境システム事業）

・完成工事高が大幅に減少したことにより減益となった。

（塗装システム事業）

・景気悪化の影響に伴い、比較的収益性が高い地域における完工高が減少したことなどにより、経常赤字となった。

当頁は、事業別利益を前年同期比でまとめています。

まず、経常利益は全社ベースでは39億円減少し、37億円となりました。

そのうち、環境システム事業においては、完成工事高が大幅に減少したことにより、経常利益は30億円減少し、44億円となりました。

塗装システム事業は、景気悪化の影響に伴い、比較的収益性が高い地域における完工高が減少したことなどにより、経常赤字となりました。

1 2021年3月期第2四半期決算ハイライト

3-②. 事業別利益（予想比）

単位：億円

	予想	2020.9 実績	差異
営業利益	31	31	0
（同率）	3.9%	3.9%	0.1%
環境システム事業	42	42	0
（同率）	7.4%	7.4%	△0.0%
塗装システム事業	-10	-10	△0
（同率）	-4.2%	-4.5%	-0.3%
経常利益	39	37	-1
（同率）	4.8%	4.6%	-0.3%
環境システム事業	44	44	0
（同率）	7.8%	7.8%	△0.0%
塗装システム事業	-8	-10	-2
（同率）	-3.3%	-4.4%	-1.0%

両事業ともほぼ予想通りの結果となった。

当頁は、同じく利益について予想比でまとめています。

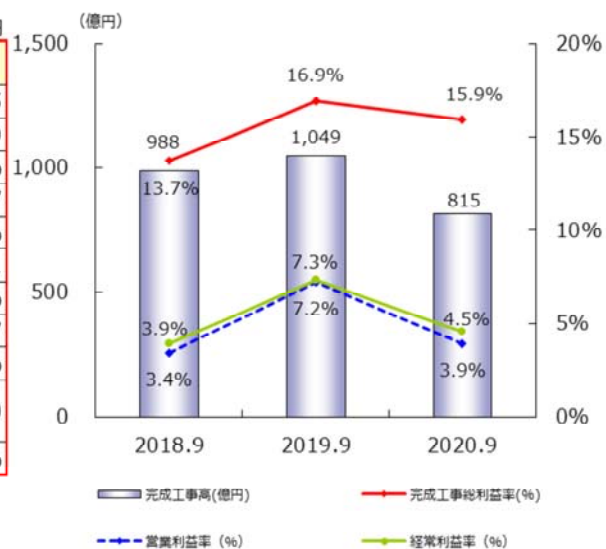
環境システム事業、塗装システム事業ともにほぼ予想通りの結果となりました。

1 2021年3月期第2四半期決算ハイライト

4. 損益計算書

単位：億円

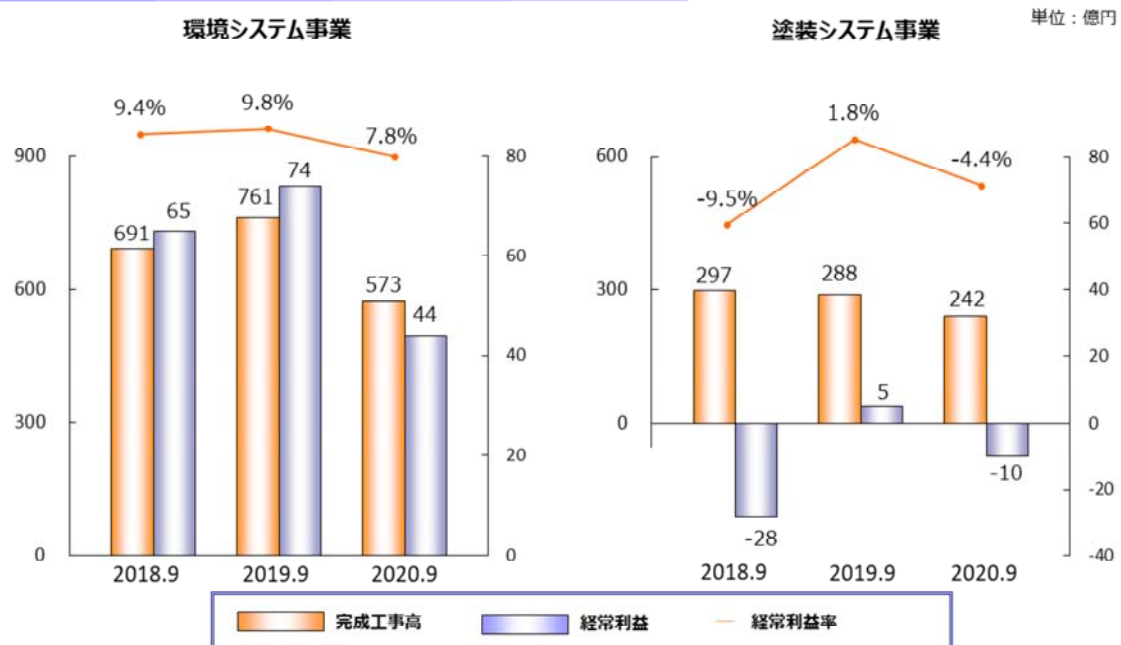
	2018.9	2019.9	2020.9
完成工事高	988	1,049	815
完成工事総利益	135	177	129
(同率)	13.7%	16.9%	15.9%
販管費	101	102	97
(同率)	10.3%	9.7%	12.0%
営業利益	33	75	31
(同率)	3.4%	7.2%	3.9%
経常利益	38	76	37
(同率)	3.9%	7.3%	4.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	9	53	30
(同率)	0.9%	5.1%	3.8%



当頁は、3ヶ年の業績の推移を表しています。ご参照ください。

1 2021年3月期第2四半期決算ハイライト

5. 報告セグメントごとの完成工事高及び経常利益

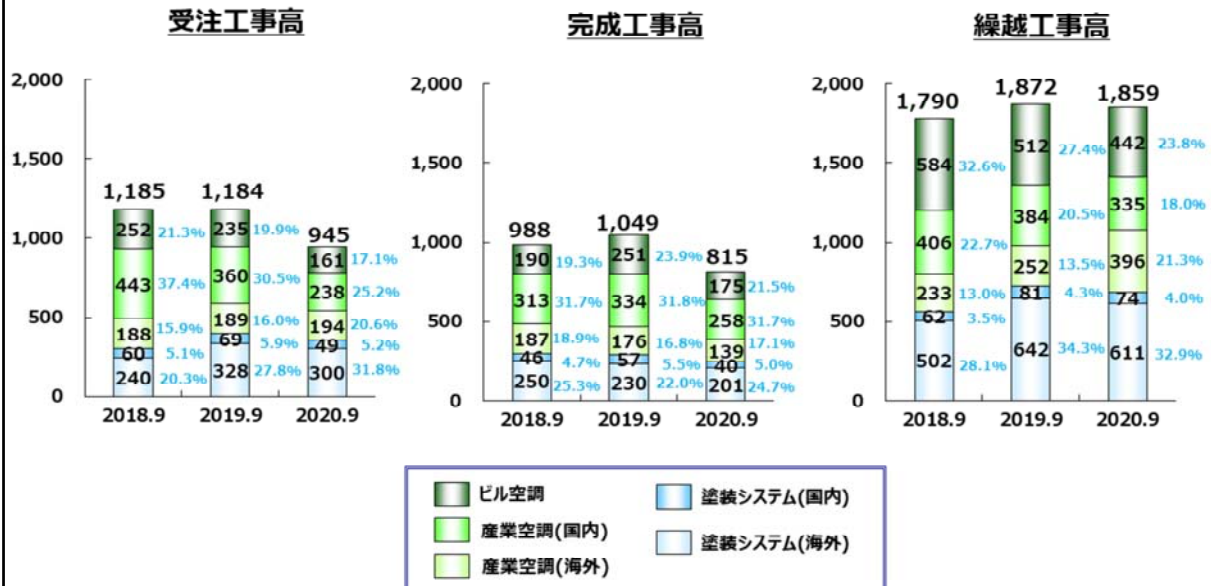


当頁は、先ほどご説明しました事業ごとの完成工事高、経常利益額の推移をグラフで示しています。ご参照ください。

1 2021年3月期第2四半期決算ハイライト

6. 受注工事高/完成工事高/繰越工事高

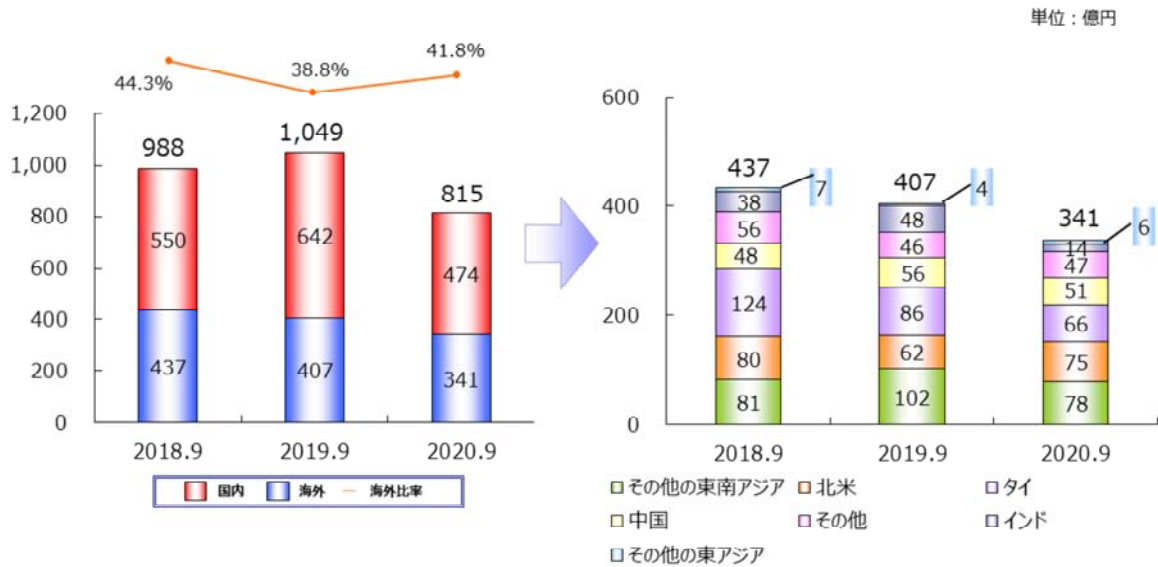
単位：億円



当頁は、受注工事高・完成工事高・繰越工事高の事業分野ごとの内訳と推移を示しております。

1 2021年3月期第2四半期決算ハイライト

7. 海外完成工事高の推移(施工地別)



備考：当セグメントデータは、外部顧客への売上高のみの数値です。
 ●主な国または地域
 ・東南アジア---シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム、他
 ・東アジア---台湾、韓国
 ・北米---アメリカ、カナダ、メキシコ
 ・その他地域---ロシア、南米、他

当頁は、海外の完成工事高の推移についてです。

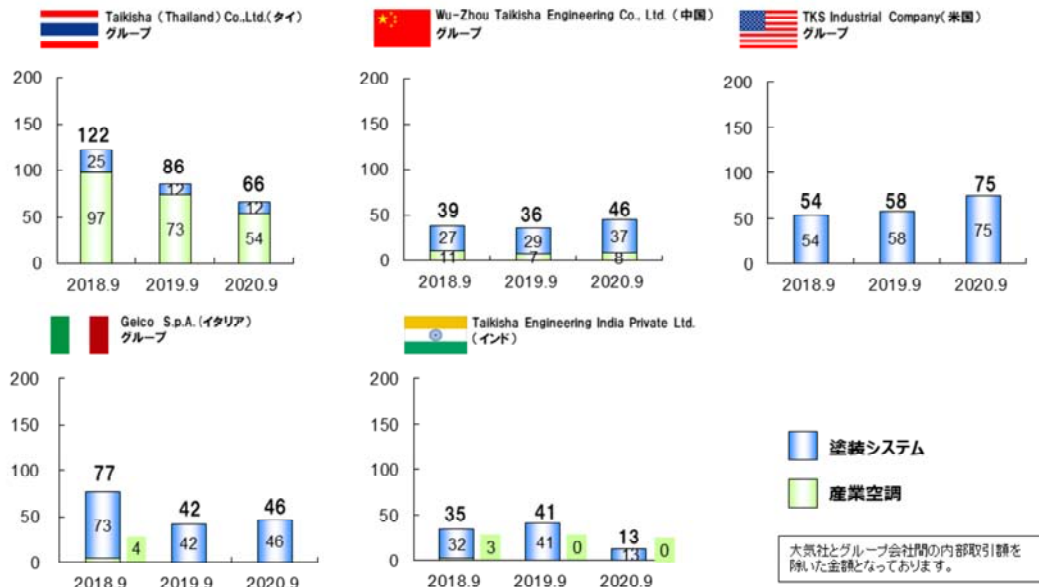
左のグラフは国内海外の内訳と海外比率の推移を示しています。

今期の完成工事高は、前年同期に対し国内・海外ともに減少しましたが、国内の減少がより大きかったため海外比率は上昇しました。

1 2021年3月期第2四半期決算ハイライト

8. 海外主要5社の完成工事高の推移

単位：億円



当頁は、海外主要5社の完成工事高の推移を示しております。

Geico社の2018年上期は、北米における自動車塗装の大型案件が寄与したため高い水準となっています。

1 2021年3月期第2四半期決算ハイライト

9. 貸借対照表

単位：億円

科目	2020.3	2020.9	増減	科目	2020.3	2020.9	増減
流動資産	1,689	1,534	-155	流動負債	939	818	-120
現金預金	576	508	-67	支払手形・工事未払金等	576	395	-180
受取手形・完成工事未収入金	967	831	-135	未成工事受入金	143	177	33
有価証券	35	10	-25	工事損失引当金	2	1	-1
未成工事支出金及び 材料貯蔵品	34	41	6	その他	216	244	27
その他	79	145	65	固定負債	86	108	21
貸倒引当金	-3	-2	0	負債合計	1,025	926	-98
固定資産	464	543	79	純資産	1,128	1,151	22
有形固定資産	104	105	0	資本金	64	64	0
のれん	7	48	40	資本剰余金	50	50	0
その他無形固定資産	28	32	3	利益剰余金	908	915	6
投資有価証券	243	274	30	自己株式	-25	-25	-0
繰延税金資産	6	5	-0	その他有価証券評価差額金	83	105	21
その他	73	78	4	繰延ヘッジ損益	-0	-0	-0
貸倒引当金	-0	-0	0	為替換算調整勘定	3	-4	-8
資産合計	2,153	2,077	-75	退職給付に係る調整累計額	-3	0	3
				非支配株主持分	46	45	-0
				負債純資産合計	2,153	2,077	-75

2020年7月30日にインドにおいてクリーンルーム向けパネルの製造・販売会社Nicomac社に出資し、子会社化した結果、のれんが前期末より40億円増加。

当頁は、連結の貸借対照表となります。

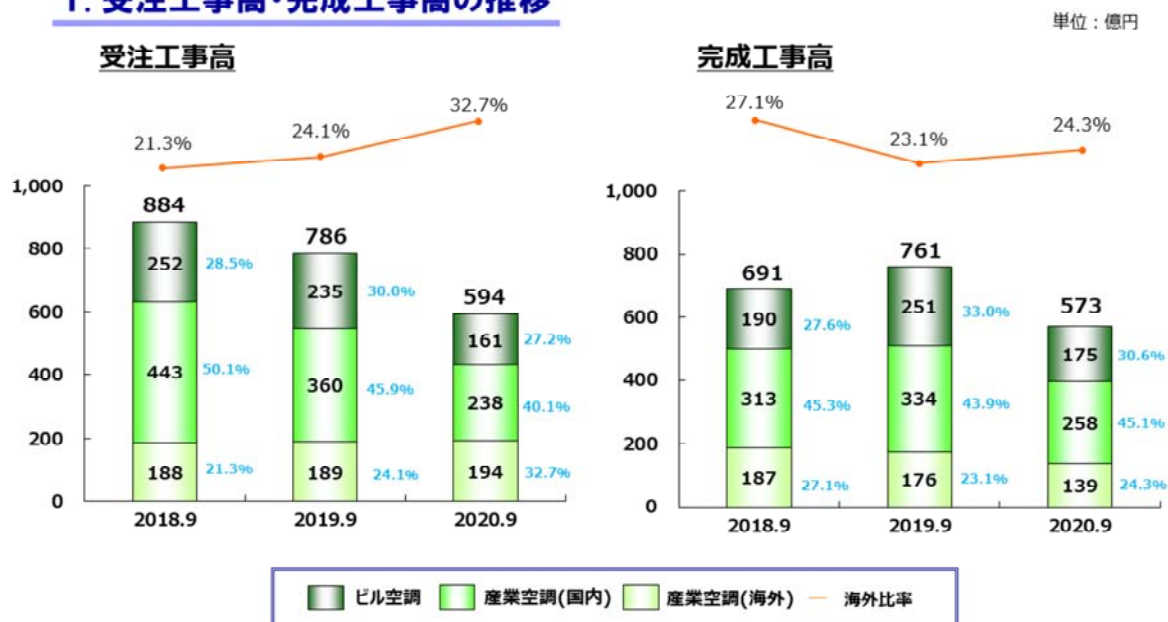
当社は、資本提携による海外事業領域の拡大に向けた取り組みとして、2020年7月30日にインドにおいてクリーンルーム向けパネルの製造・販売会社Nicomac社に出資し、子会社化しました。

本件の概要につきましては後段で別途ご案内しますが、業績への影響につきましては、みなし取得日を2020年9月30日にしているため、当第2四半期連結累計期間においては、Nicomac社の貸借対照表のみ連結しており、損益計算書については連結していません。

その結果、のれんが前期末より40億円増加しております。

2 環境システム事業の業績

1. 受注工事高・完成工事高の推移



当頁からは、環境システム事業の業績についてご説明いたします。

左のグラフは受注工事高、右のグラフは完成工事高について事業分野別に推移を示しております。

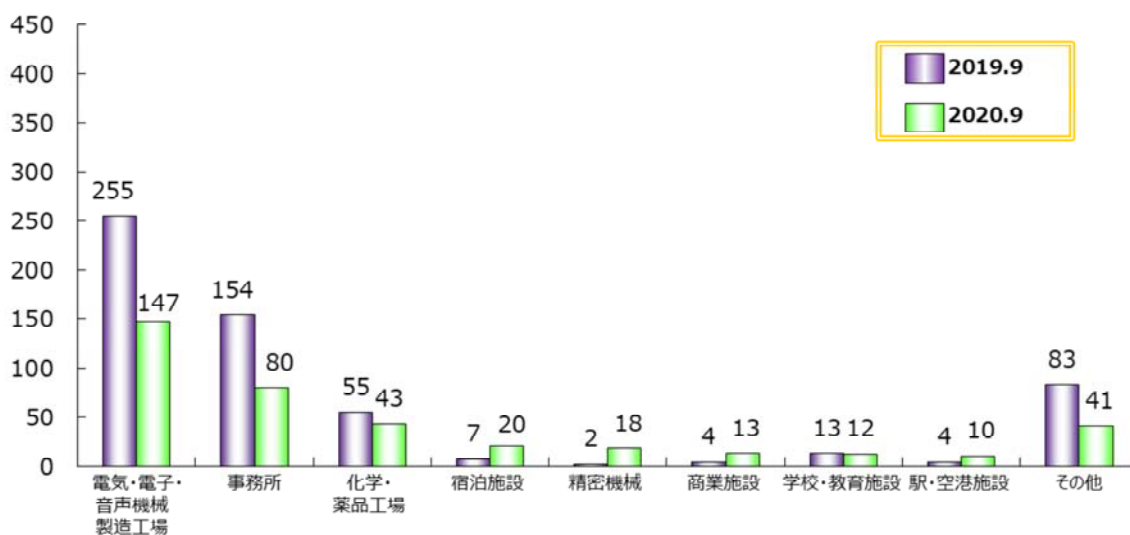
受注工事高は、国内での減少が続き、海外比率は上昇傾向となりました。

完成工事高は、国内・海外ともに減少しましたが、国内の減少幅がより大きく、海外比率は上昇しました。

2 環境システム事業の業績

2. 市場種別受注状況(個別)

単位：億円



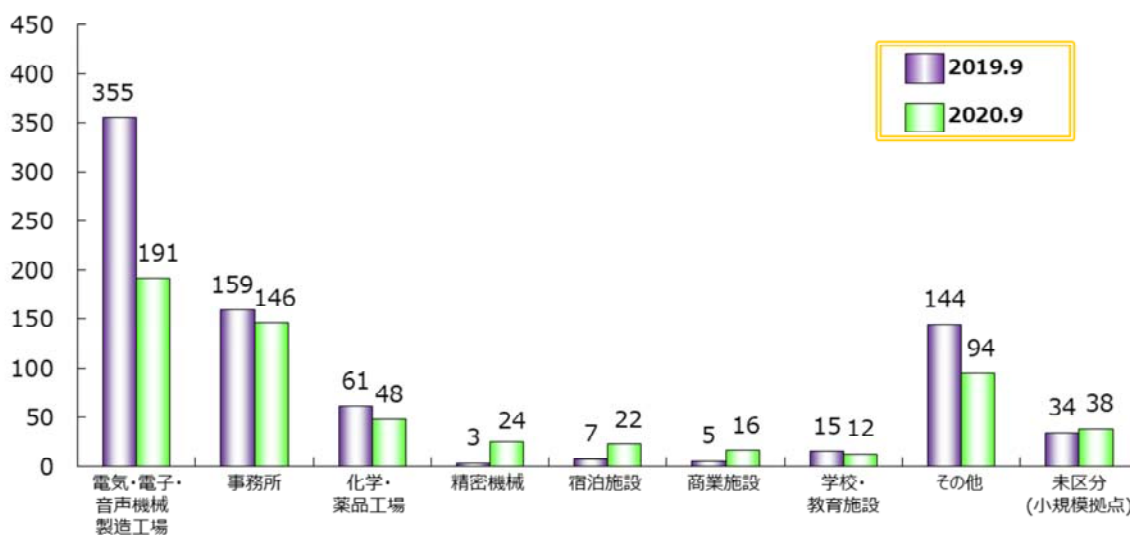
当頁は、「個別」の市場種別受注状況となります。

電機・電子分野と事務所分野の受注は、前年同期に大型案件の受注があったことによる反動減に加え、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、大幅減少となりました。

2 環境システム事業の業績

3. 市場種別受注状況(連結)

単位：億円



25

Copyright 2020 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

当頁は、環境システム事業の「連結」の市場種別受注状況となります。

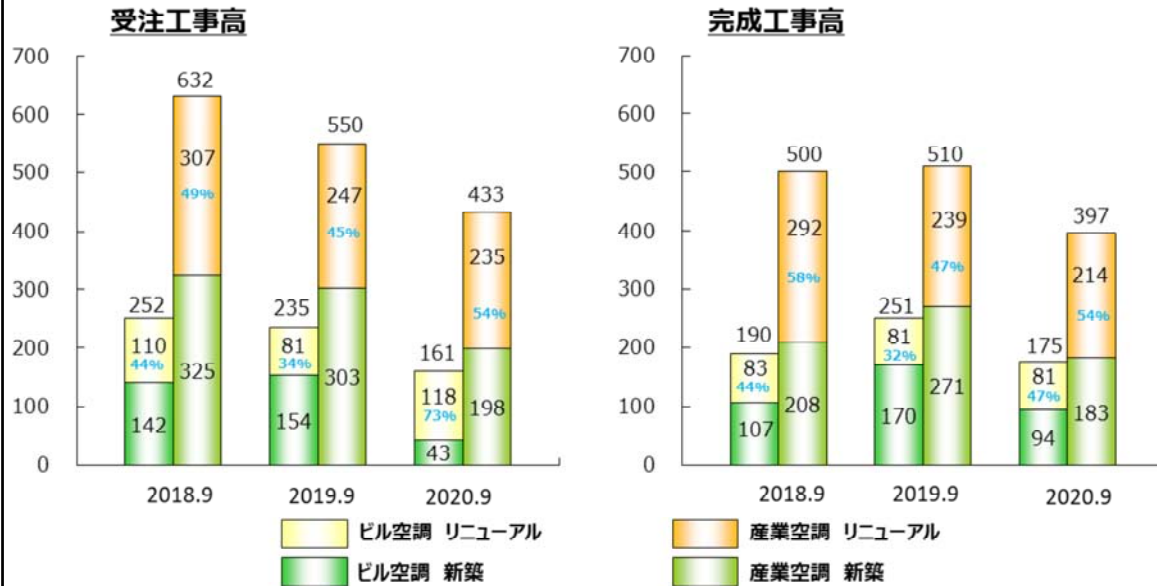
電気・電子分野の受注は、海外においても景気悪化により、設備投資は調整局面が続いたため減少しました。

一方、事務所については、今期はタイで大型再開発案件の受注があったことにより、単体における前年同期との差は縮まりました。

2 環境システム事業の業績

4. リニューアル工事の推移(連結)

単位：億円
%：リニューアル比率

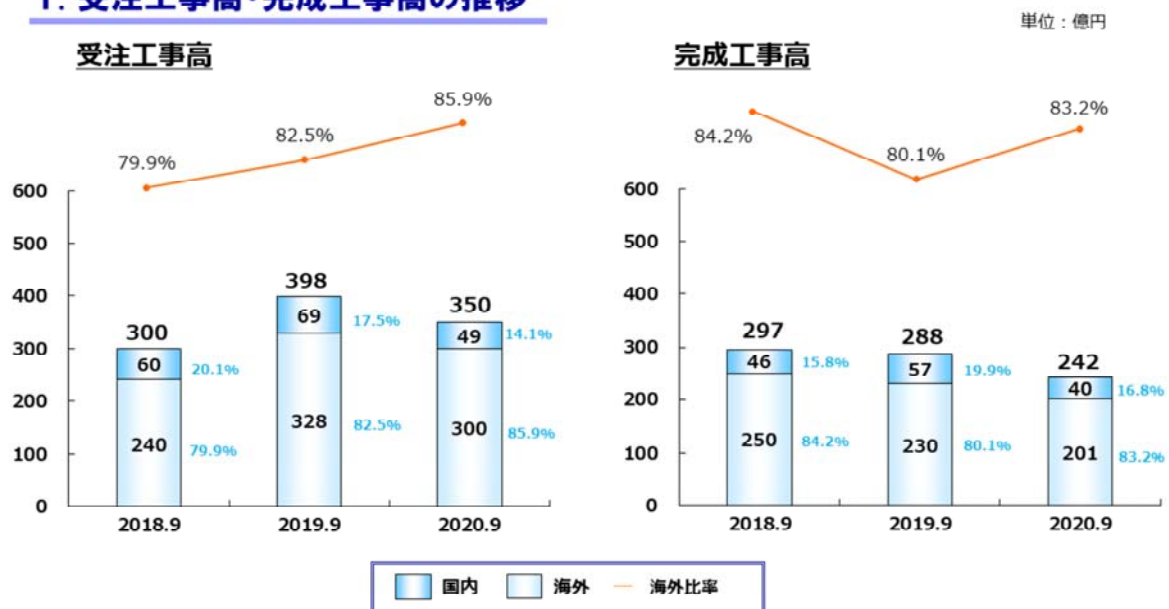


当頁は、リニューアル工事の推移です。

ビル空調分野におけるリニューアル工事の受注工事高は、今期は大型リニューアル案件の受注により増加しました。

3 塗装システム事業の業績

1. 受注工事高・完成工事高の推移



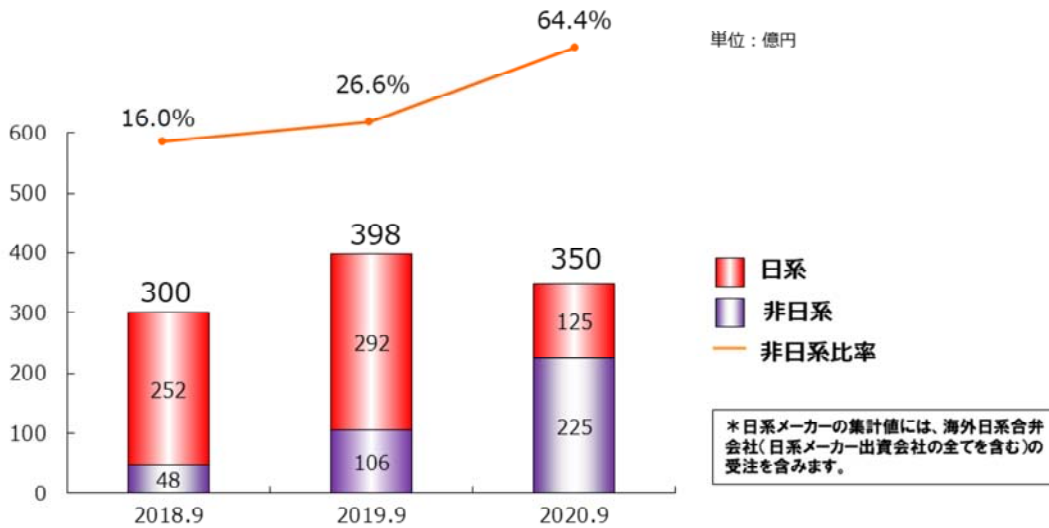
当頁からは、塗装システム事業についての説明となります。

受注工事高の海外比率は上昇傾向となりました。

完成工事高については、前年同期比で国内、海外とも減少しましたが、国内の減少幅が大きく、海外比率は上昇しました。

3 塗装システム事業の業績

2. 非日系メーカー受注工事高比率



当頁は、非日系自動車メーカーからの受注工事高比率についてです。

今期は欧州において非日系顧客からの大型案件の受注があったことにより、非日系比率は大幅に増加しました。

4 主な受注工事・完成工事・繰越工事

1. 5億円以上の受注工事 全23件 (445億円)

5億円以上の件数 (工事・市場種別)				
受注工事高 合計23件 (445億円)	国内 132億円	13件	事務所	1件
			学校・教育施設	1件
			商業施設	1件
			宿泊施設	1件
			駅・空港施設	1件
			電気・電子	4件
			精密機械・医療器具	1件
			鋳造・製鉄・非鉄金属	1件
			化学・薬品	1件
			自動車	1件
			事務所	1件
			電気・電子	1件
			その他工場	1件
	自動車	4件		
	トラック	1件		
	鉄道	1件		
	二輪車	1件		
	海外 312億円	10件	事務所	1件
			電気・電子	1件
			その他工場	1件
		自動車	4件	
		トラック	1件	
		鉄道	1件	
		二輪車	1件	

当頁からは、計上金額が5億円以上となった受注・売上案件と、10億円以上の繰越案件についてまとめております。ご参照ください。

4 主な受注工事・完成工事・繰越工事

2. 5億円以上の**完成工事** 全27件 (285億円)

5億円以上の件数 (工事・市場種別)				
完成工事高 合計27件 (285億円)	国内 144億円	16件	事務所	4件
			学校・教育施設	1件
			宿泊施設	1件
			電気・電子	6件
			化学・薬品	3件
			輸送機械	1件
	海外 141億円	11件	事務所	1件
			商業施設	1件
			自動車	9件

4 主な受注工事・完成工事・繰越工事

3. 10億円以上の繰越工事 全39件 (1,066億円)

10億円以上の件数 (工事・市場種別)			繰越工事	内 2020年度 完成予定	
繰越工事高 合計39件 (1,066億円)	国内 367億円	16件	事務所	7件	
			行政施設	1件	
			宿泊施設	1件	
			医療・福祉施設	1件	
			電気・電子	2件	1件
			化学・薬品	2件	
			技術研究施設	1件	
			建設機械	1件	
	海外 698億円	23件	事務所	2件	
			駅・空港施設	2件	
			電気・電子	2件	
			化学・薬品	1件	
			その他工場	1件	
			自動車	12件	3件
			トラック	1件	
			鉄道	1件	
			二輪車	1件	

5 2021年3月期業績予想

事業別予想値

単位：億円

	2020.3									2021.3								
	環境システム			塗装システム			全社			環境システム			塗装システム			全社		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期(E)	通期(E)	上期	下期(E)	通期(E)	上期	下期(E)	通期(E)
受注工事高	786	819	1,605	398	265	663	1,184	1,084	2,269	594	705	1,300	350	369	720	945	1,074	2,020
完成工事高	761	812	1,573	288	391	680	1,049	1,204	2,253	573	726	1,300	242	487	730	815	1,214	2,030
営業利益	72	63	135	5	22	27	75	78	154	42	63	106	-10	22	12	31	78	110
経常利益	74	64	138	5	22	28	76	83	159	44	63	108	-10	23	13	37	82	120
親会社株主に帰属する当期純利益	-	-	-	-	-	-	53	37	91	-	-	-	-	-	-	30	49	80

① 2020年3月期上期決算為替レート：1USD=110.11円、1ユーロ=124.47円、1タイバツ=3.48円

② 2021年3月期上期決算為替レート：1USD=108.44円、1ユーロ=119.85円、1タイバツ=3.44円

③ 2021年3月期想定為替レート：1USD=106.00円、1ユーロ=117.00円、1タイバツ=3.49円

※2021年3月期業績予想において、金為替レートが1%変動した場合の影響額
⇒受注・完工：約1.0億円、経常利益：約0.3億円

①と②の為替差による影響 完成工事高：△9.3億円、経常利益：+0.3億円

②と③の為替差による影響 完成工事高：+4.6億円、経常利益：+0.1億円

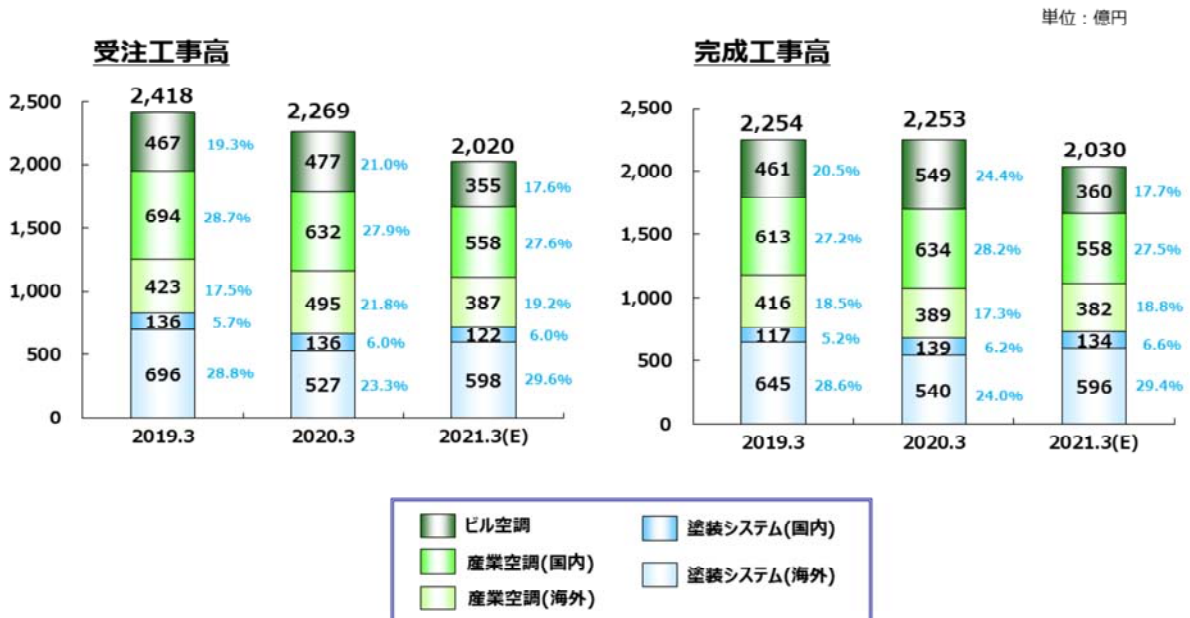
当頁は、2021年3月期の事業別予想値となります。

第1四半期決算発表時に開示した今期の業績予想に対し、上期の実績はほぼ想定通り推移していることから、現時点では通期業績予想を据え置いております。

なお、想定為替レート、および為替差による影響についてスライド下部に記載しておりますのでご確認ください。

5 2021年3月期業績予想

事業別予想値

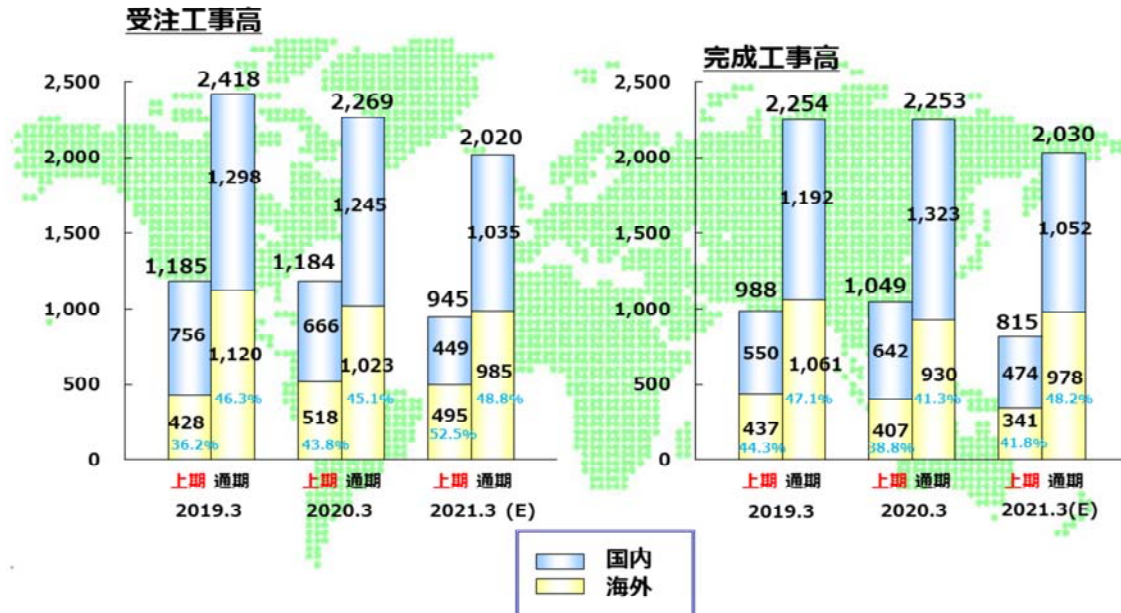


当頁からは、全社および各事業における受注工事高、完成工事高の業績予想をお示しておりますのでご参照いただければと思います。

5 2021年3月期業績予想

全社（国内／海外別）

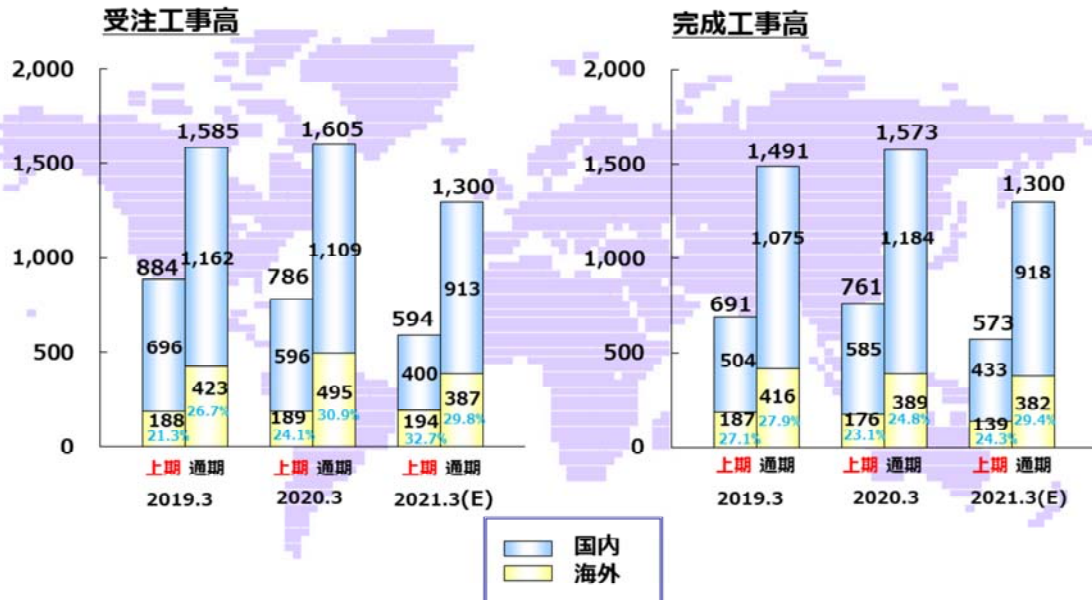
(単位:億円)
(%:海外比率)



5 2021年3月期業績予想

環境システム事業（国内／海外別）

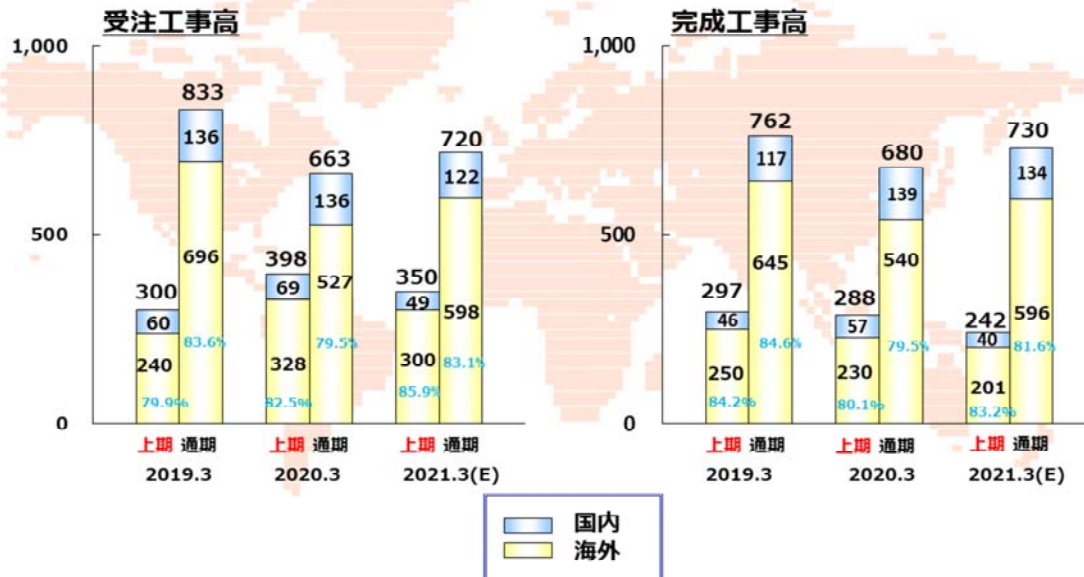
(単位:億円)
(%:海外比率)



5 2021年3月期業績予想

塗装システム事業（国内／海外別）

(単位:億円)
(%:海外比率)



6 株主還元
自己株式の取得・消却

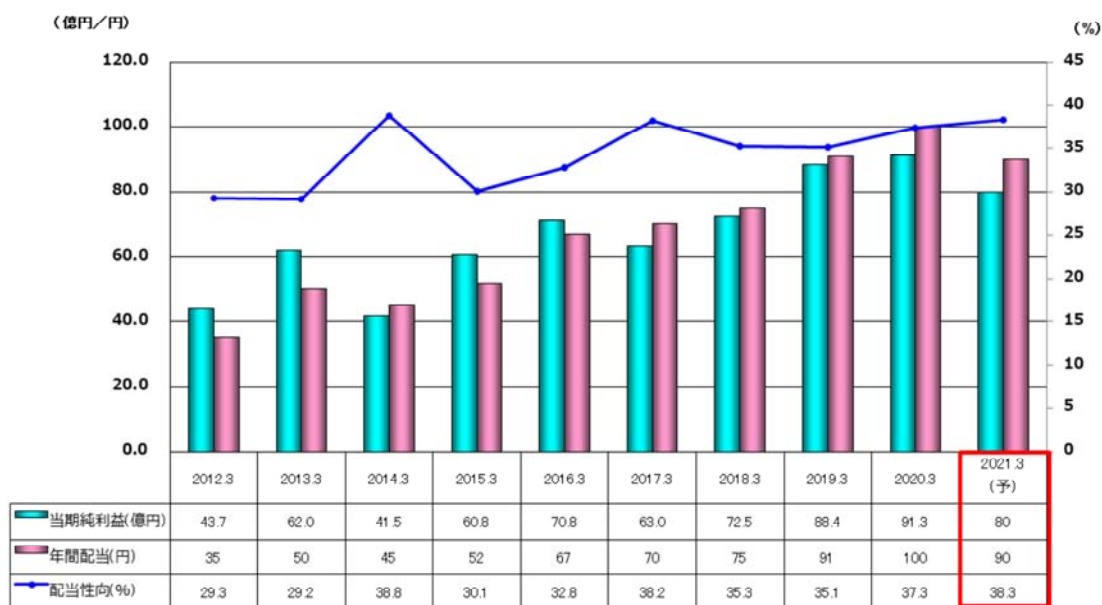
取得実績				消却実績			
実施年月	株数 (千株)	単価 (円)	金額 (百万円)	実施年月	株数 (千株)	単価 (円)	金額 (百万円)
2005年12月	40	1,933	77	2008年 8月	1,200	1,593	1,912
2006年 2月	597	1,780	1,062	2018年 2月	1,700	2,443	4,154
2006年7,8月	500	1,401	700				
2011年 8月	300	1,576	472				
2012年11月	600	1,614	968				
2013年12月	800	2,170	1,736	<u>処分実績</u> (ESOPにて)			
2015年 5月	680	3,245	2,206	実施年月	株数 (千株)	単価 (円)	金額 (百万円)
2016年11月	356	2,805	999	2013年 2月	180	1,860	334
2017年11,12月	136	3,654	499				

当頁では、自社株式の取得・消却実績についてご説明いたします。

基本方針としましては、資本効率の向上と機動的な財務政策の実現を目的として、自社株取得・消却を弾力的に実施していきます。

6 株主還元

当期純利益と配当の推移



連結配当性向35%を目標とし、安定的な配当を実施していくことを基本方針とする。
2021年3月期の1株当たり年間配当予想金額は90円。(配当性向38.3%)

当頁においては、配当についてご説明いたします。

当社は、利益配当金による株主の皆様への利益還元を最重要施策のひとつとして考え、連結配当性向35%を目標とし、かつ、安定的な配当を実施していくことを基本方針としております。

2021年3月期の年間配当予想金額につきましては、業績及び当配当方針を総合的に勘案した結果、1株当たり90円としております。

2. 中期経営計画（2019年度～21年度）の 各戦略における取り組み

続きまして当頁からは、中期経営計画の各戦略における取り組みにつきましてご案内させていただきます。

長期ビジョン／数値目標／投資テーマ

「特色あるエンジニアリングを通じ、
最適な環境を創造するグローバルな企業グループを目指す」

技術

エネルギー・空気・水に関わる技術で、
お客様の多様なニーズを満たすエンジニアリング集団を目指す。

環境

先進的なソリューション技術でお客様の環境課題を解決し、
豊かな地球環境を未来へ引き継ぐことに貢献する。

人材

個人の創造性・多様性を尊重し、社員が自己の成長と働く喜びを感じることができる
風土を大切にします。

2022年3月期 数値目標

受注工事高	2,650 億円
完成工事高	2,600 億円
経常利益	160 億円
親会社株主に帰属する当期純利益	100 億円
自己資本利益率 (ROE)	8 %以上
投資計画	200 億円

投資テーマ

投資金額 (計画)

技術開発力・提案力の強化／新規事業への取り組み推進
(研究開発施設の拡充など)

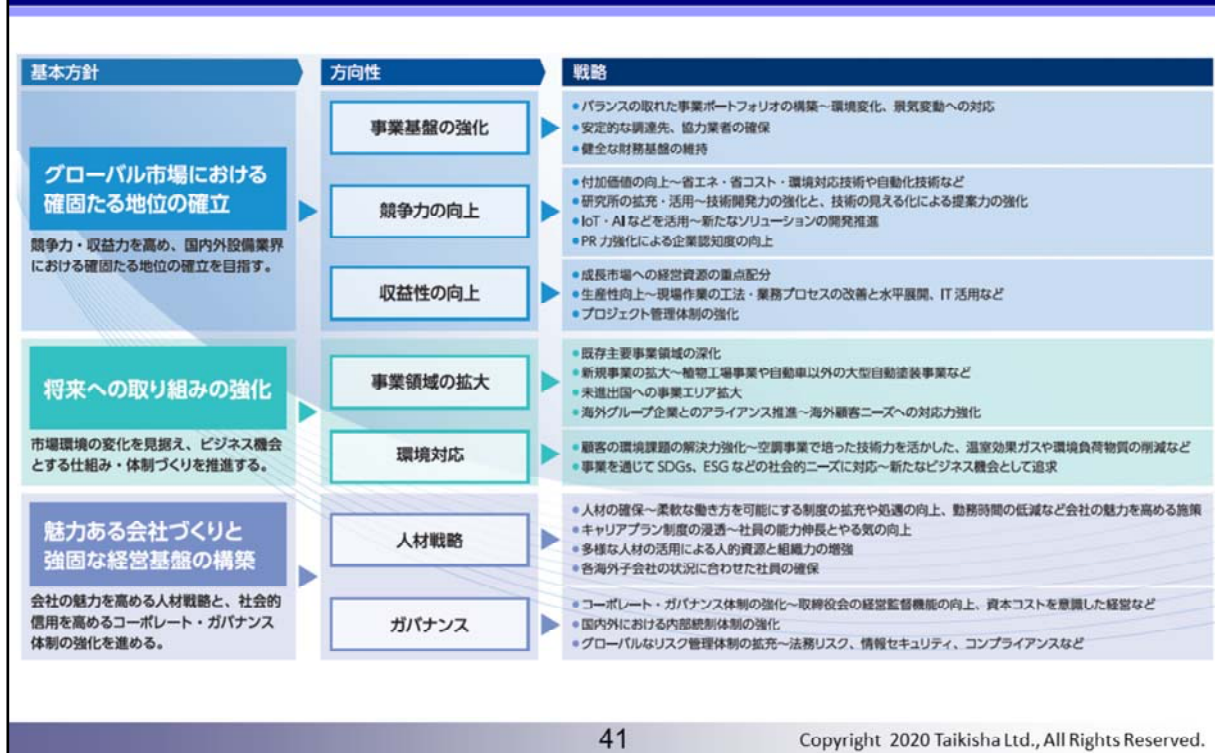
生産性の向上(ITの活用など)・人材開発

M&Aなど資本投資

200億円

当頁は、本中計の『長期ビジョン／数値目標／投資テーマ』について記載
しております。

基本方針と方向性・戦略



続いて『基本方針と方向性・戦略』について記載しております。

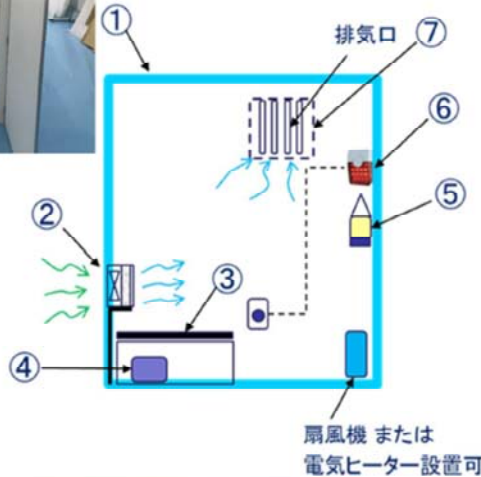
各戦略における取り組み ～今期の実績①～

戦略：事業を通じた社会的ニーズへの対応①



外観
・1700mmW
x 2100mmL
x 1910mmH

避難所用シェルター 「バリアーキューブ」



- ①組立式シェルター
プラダン製(プラスチック段ボール)
・何度も使える
・表面に除菌スプレー等可能
・採光性があり閉塞感を感じにくい
- ②HEPAフィルターで濾過した空気を送り換気(給気ファン付)
・室内をプラス圧化(外気の侵入を防ぐ)
- ③ポータブルベット(折畳式)
- ④充電式バッテリー
- ⑤LED照明(取外し携帯可)
- ⑥非常時点滅ライト・アラーム
(リモートスイッチ付)
- ⑦排気フィルター

42

Copyright 2020 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

当頁からは中計の各戦略における取り組みのうち、今期の実績についてご案内いたします。

まず、『事業を通じた社会的ニーズへの対応』における実績についてご報告させていただきます。

新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、当社はこれまでの空調制御技術を活かした社会貢献ができないかという観点から、ウイルス感染リスクを低減させる製品を開発しました。

まず7月初めに、災害時の緊急避難所用に、新型コロナウイルスの感染リスクを低減できるシェルター「バリアーキューブ」を開発・発表しました。

これまでの避難所用シェルターは、カーテンやダンボールにより間仕切りを設けるタイプが一般的でしたが、大気社ではよりプライベート性の高い完全個室タイプを採用するとともに、当社の空調技術を取り入れ、内部の空気の高い清浄度を維持することで新型コロナウイルスの感染リスクの低減に有効なシェルターとなります。

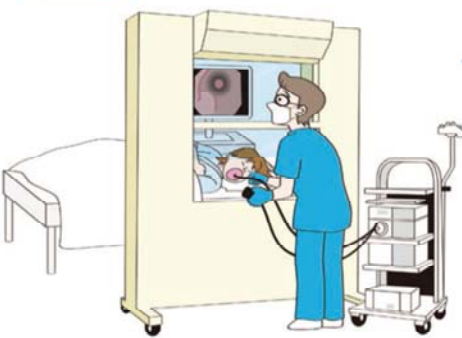
シェルター内の空気の高い清浄度を維持する仕組みとして、給気ファン付HEPAフィルター（High Efficiency Particulate Air Filterの略、高い空気清浄能を持つ超高性能フィルター）を備えていることが最大の特長となります。

各戦略における取り組み ～今期の実績②～

戦略：事業を通じた社会的ニーズへの対応②

移動式高性能エアバリアユニット
HEPAフィルター付きパーテーション

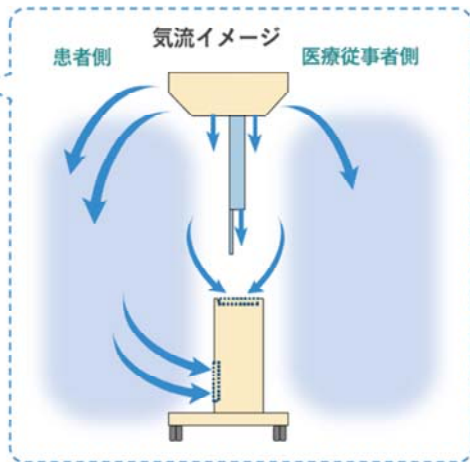
(使用例)



- 医療従事者と患者が対面となる診察時
- PCR検査などの検体採取時
- 患者がマスクを装着できない内視鏡検査など

Air Infection Block Plus

気流イメージ



43

Copyright 2020 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

さらに7月末には、病院や診療所などにおいて、処置に当たる医療従事者が患者と対面となる診察時やPCR検査などの検体採取時において、必要な場所に配置するだけでウイルス感染リスク低減が実現できる、移動式高性能エアバリアユニット「Air Infection Block Plus」を開発・発表しました。

この装置は、処置を行うための開口部における「エアカーテン」と、吸気口を患者側に集中させる「一方向気流」により医療従事者を守ることができます。

また、殺菌効果をプラスしたHEPAフィルターの採用で2次感染を抑制することができます。

各戦略における取り組み ～今期の実績③～

戦略：資本提携による海外事業領域の拡大

2020年7月末にインドにおいてクリーンルーム向けパネルの製造・販売会社 Nicomac Clean Rooms Far East LLP(以下「Nicomac社」)に資本参加いたしました。

Nicomac社はインド製薬メーカーを主要な顧客として、高品質なパネルを製造・販売しております。

今回の資本参加を機に、中長期的に経済成長が見込まれるインド市場において、高機能の空調設備を必要とする医薬品製造環境を中心に、同社のパネル製造、据付技術と当社の空調設備技術の融合により、同国のクリーンルーム建設市場への対応力強化をめざします。



次に、『資本提携による海外事業領域の拡大』における実績についてご報告させていただきます。

当社は今年7月にインドにおいてクリーンルーム向けパネルの製造・販売会社 Nicomac社に対する資本参加を行いました。

このNicomac社はインド製薬メーカーを主要な顧客として、高品質なパネルを製造・販売しておりますが、今回の資本参加を機に、中長期的に経済成長が見込まれるインド市場において、高機能の空調設備を必要とする医薬品製造環境を中心に、同社のパネル製造、据付技術と当社の空調設備技術の融合により、同国のクリーンルーム建設市場への対応力強化を目指していきます。

当社は、今後も成長市場における積極的なM&Aを継続的に検討していく方針です。

各戦略における取り組み ～進行中の主な取り組み①～

戦略	進行中の主な取り組み
付加価値の向上 ～省エネ・省コスト・ 環境対応技術や自動化技術など	高塗着効率塗装システムの開発・商品化 CO ₂ 削減につながる、高塗着効率塗装システムの開発・商品化を 推進中。
研究所の拡充・活用 ～技術開発力の強化と技術の見 える化による提案力の強化	技術開発センター（愛川）の実証センター化 環境システム事業関連技術の顧客への提案を行う見学施設とし て再構築を検討中。
IoT・AIなどを活用 ～新たなソリューションの開発推進	予兆保全と品質解析システムの開発・事業化 IoT・AI を活用して稼働停止や品質不良発生時の要因解析を 行うシステム「i-Navistar」の導入拡大に向け営業活動推進中。

当頁からは、各戦略における進行中の主な取り組みについて記載しておりますのでご参照ください。

各戦略における取り組み ～進行中の主な取り組み②～

戦略	進行中の主な取り組み
生産性向上	図面作画・積算業務の自動化システムの開発 図面の自動作画や自動積算のシステムを開発中。
新規事業の拡大 <small>～植物工場事業や自動車以外の大型自動塗装事業など</small>	植物工場自社工場建設 植物工場の量産・自動化技術の確立と実証、そして顧客への提案を行う施設の設立を検討中。 航空機・鉄道車両向け自動研磨装置の開発・事業化 初プロジェクトの受注に向けた営業・技術実証活動を推進中。
未進出国への事業エリア拡大	未進出国への拠点設立の検討 今後の投資が期待できる地域への新規拠点設立を検討中。

各戦略における取り組み ～進行中の主な取り組み③～

戦略	進行中の主な取り組み
<p>人材の確保 ～柔軟な働き方を可能にする制度の拡充や処遇の向上、勤務時間の低減など会社の魅力を高める施策</p>	<p>テレワーク制度拡充等ポストコロナ禍に向けた取り組み</p> <p>当社に適するテレワーク制度の拡充など、ポストコロナ禍を見据えた社員の働き方の改善と業務の効率化に向けた対応を検討中。</p> <p>同一労働同一賃金を求める法改正への対応</p> <p>改正法の主旨に基づき、非正規社員と正規社員間の処遇差異の見直しを実施。引き続き、処遇改善に向けた取り組みを継続中。</p>
<p>多様な人材の活用による人的資源と組織力の増強</p>	<p>多様な人材の採用と活用</p> <p>女性活躍を推進すべく、ライフイベントに応じた柔軟な休暇・休職の取得や復職後の職務訓練指導を実施。また、政府が推進する70歳雇用への対応について検討中。</p>

各戦略における取り組み ～進行中の主な取り組み④～

戦略	進行中の主な取り組み
コーポレート・ガバナンス体制の強化 ～取締役会の経営監督機能の向上、資本コストを意識した経営など	資本コストや資本・配当政策に関する検討の深化 企業価値向上を目指し、資本コストを意識した経営や資本・配当政策に関する検討を推進中。
国内外における内部統制体制の強化	ITに関わる内部統制体制の強化 グループ全体のITを健全に維持・監督する内部統制体制の強化に向けた対応を検討中。
グローバルなリスク管理体制の拡充 ～法務リスク、情報セキュリティ、コンプライアンスなど	グローバルな情報セキュリティ対策の強化 海外子会社における情報セキュリティ対策の強化を検討中。

今後も、半期毎の決算説明資料におきまして、進捗のご報告をさせていただきます。

私からのご説明は以上となります。

ご清聴いただき、ありがとうございました。

将来の見通しに関するご注意事項

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。またこれらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。

従いまして、本情報および資料のご利用は、他の方法により入手された情報とも照合・確認し、ご利用者の判断によって行っていただきますようお願いいたします。

本資料ご利用の結果、生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

本資料に関するお問合せ先

株式会社大気社 管理本部 企画・広報課

TEL : 03-5338-5052 FAX : 03-5338-5195